



2016年

2・3 月号

Vol. 143

「そっとおとどけ」は、図書館司書によるミニ新聞です。
行事のお知らせや展示スケジュールなど、さまざまな情報を皆さんにおとどけます。



イベントあない

2月

- 7日(日) 10:00～ おもちや病院(受付 14:00まで)
- 9日(火) 11:00～ 表のこの学幼稚園向けおはなし会
- ★ 13日(土) 14:00～ 土曜シアターの映画上映
「南部の人」(91分)
- 14日(日) 11:00～ 赤ずきんのおはなし会
- 27日(土) 14:00～ やまびこ会のおはなし会
- ★ 28日(日) 14:00～ はの(はな)教室のブラックパネルシアター

3月

- 8日(火) 11:00～ 表のこの学幼稚園向けおはなし会
- 13日(日) 11:00～ 赤ずきんのおはなし会
- 20日(日) 14:00～ れろの会のおはなし会
- 26日(土) 14:00～ ごらくとんぼのおはなし会
- 27日(日) 14:00～ 図書館職員のおはなし会

※ ★は2階ティールホールにて
♥は図書館2階会議室にて
その他はおはなしコーナーにて(参加は無料です)

【2月】

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

カレンダー



【3月】

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※ ■ はお休み、太字 は 17時閉館、
○ は行事がある日です
(詳しくは職員にお尋ね下さい)

蔵書点検のため休館します

休館期間: 2/15(月)～2/25(木)

上記期間中は、館内にある全資料(約19万冊)の点検を行います。
長期休館となりますので、貸出冊数・貸出期間を拡大します。

2/2(火)～2/14(日): 図書 3週間

2/9(火)～2/14(日): 雑誌・視聴覚資料 2週間

※合計15点まで貸出可能(雑誌は5冊まで、視聴覚資料は1点)
休館中の図書・雑誌の返却は、本のポストをご利用ください。



♥「司書のおすすめ 2015」発行♥

14名の司書が、おすすめの本を紹介した冊子です。
2/26(金)より、カウンターにて無料配付いたします。

どうぞご覧ください。



♥ミニ展示のごようかい♥

場所: 一般閲覧室の実用書コーナー

各棚ごとに特集を組み、展示しています。
今回は、その中のひとつを紹介します。

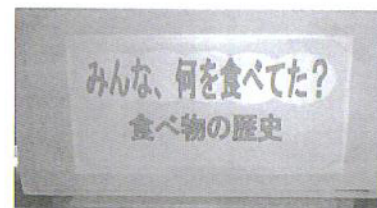
展示コーナー

〈一般〉・〈児童〉

1/28(木)～3/29(火)

司書のおすすめ 2015

「司書のおすすめ 2015」発行に伴い
こちらの冊子で紹介している本を
中心に展示しています。



「みんな、何を食べてた? 食べ物の歴史」3/31(木)まで

直方市立
図書館
NOGATA CITY LIBRARY

〒822-0034 直方市山部 301-11 Tel. 0949-25-2240

URL <http://www.yumenity.jp/library/library.html>

開館時間 火～土 10:00～19:00、日・祝 10:00～17:00

テーマ

卒業

毎月ひとつのテーマによって、司書が様々なジャンルの本を紹介しします。

「本のタイトル」 (ペンネーム)
著者または出版社・請求記号
紹介文

「底辺女子高生」

豊島ミホ:著 B914T (茶白)

一年の時、告白のために一人称を「オラ」から「あたし」に変えた。二年の時、家出を決行したが連水戻さず、下宿をすることになった。二年の後半からは教室に行かなくなり、保健室の常連となった。期待を胸に入学した頃から、みんなよりも遅れて迎えた卒業式まで、赤裸々に綴った一冊。

「少女は卒業しない」

朝井リョウ:著 FA (グレース)

廃校が決まったある高校での最後の卒業式。翌日には取り壊される校舎で7人の少女たちはある決意をします。

本書は7人それぞれの「さよなら」がかった連作短編集です。「卒業したくない」「卒業してほしくない」卒業式に喜びだけでなく気持ちは確かに抱えていたのだと思い出しました。

「卒業するわたしたち」 (K)

加藤千恵:著 YFカ

高校・自動車学校・アイドルの卒業など様々なシーンでの卒業を題材にした、短編集です。どの章も、ひとおきに生きる女の子の心の様子が丁寧に描かれています。

一瞬の輝きが大きければ大きいほど、切なさが増すのだと、しみじみ感じました。

「世界の果ての魔女学校」 (るー)

石崎洋司:作 K913I

何をしてもうまくいかず、家出したアンが行き着いた先は、世界の果ての魔女学校。過去を求めて彷徨うジゼル、恋した相手の未婚に、魔女の卒業試験で思いを遂げるアリーシア、村からつまはじきにされたシボン。魔女学校はどこにでもいそうな少女を狙い、人間を呪う魔女にする。最後まで見逃せない、少し怖くてかわいそうな少女達の物語。

「たった1日で声まで良くなる話し方の教科書」

魚住りえ:著 809.2ウ (P)

声を変えれば印象が変わり、話し方を変えれば人生が変わる!と、元日本テレビアナウンサーが話し方のコツを伝授。春は、卒業式や入学式等と、人と交わり話す機会が多い季節です。それまでに自分の話し方を見直してみるのはいかがでしょうか?

「これから社会に出るきみへ 有名人が贈る60の勇氣」

エドワード・ボフマン:編 159.7ホ (ダック)

スティーブン・スピルバーグやニコラス・ケイジなどアメリカを代表する有名人60人の、大学の卒業式でのスピーチを集めた本書。これから社会人になる学生はもちろん、今、壁にぶつかっている人にもお薦めです。

「おめでとく」のシーンで弾きたい曲あつめました。(7)

シンコーミュージック・エンタテイメント:出版 763.2シ

次のステージに向かうための「卒業」。その祝いの席に音楽が添えられることもしばしば。録音のものを流すのもよいですが、生の音だといふ感じが盛り上がりやすい。ピアノ・ソロ41曲の楽譜を収録した本書。保存版だけあって幅広い選曲で、期待に応えるラインナップです。

「ピアノ(ほっぴょうかい)」 (ペコ)

みせこしあきこ:作 E913ミ

今日(は)ピアノ発表会。ももちゃんはどうぞできていません。そこへ、こねずみが出てきて言います。「あたしたちも(ほっぴょうかい)してるの。ももちゃんも、みにおいでよ」ついて行くと、舞台そでの奥に小さなドアがあって...

こんなことがあったら、恥ずかしがり屋を卒業できるかも!不思議でかわいいお話です。

「ゆりとりあ」 (ku²)

熊谷達也:著 F7

定年を迎えた佐竹(は、妻と一緒に理想郷「ゆりとりあ」に移住することに決めた。熟年夫婦が初の田舎暮らしに奮闘する姿がコミカルに描かれています。人生の節目を迎えても、新たなスタートで前向きな気持ちにさせてくれる話。

「絵でよむ就職活動基本のき」

滝邊剛:監修 377.91 (モコ)

イラストでわかりやすく就職活動に役立つ情報を紹介しています。登場人物は4人の大学生。それぞれ進路を思い描いています。様々な生き方はありますが、自分がどのように社会と関わっていくか、その一つの手段が就職かもしれません。まさに一歩を踏み出したという方に!

「マツリカ・マジョルカ」

相沢沙呼:著 FA (くら)

柴山は廃墟ビルで学校を観察する少女。マツリカに会う。マツリカにこそ使われながら、柴山は学校で起る謎を解いていく。マツリカを意識し始めた柴山は、「卒業」という別れに不安を抱く。二人は会えなくなるのか...少し切ない学園ミステリ。

「おおきくなるっていうことは」 (曇天)

中川ひろたか:文 E913T

何かを失うことは新しい何かを手に入れることであったり、誰かと別れることは新たな出会いへの助走であったり、そうしたこと繰り返しながら人は成長していきます。

卒業することは、別れ場を獲得することです。いくつになってもまだ「おおきくなること」ができる。そう思える絵本です。

「あかちゃんてね」 (Bee)

星川ひろ子・星川治雄:著 K991ホ

小さく大きくなるにつれて、笑って、おしゃべりして、たっちして、あんよして...。あかちゃんの中には、生きる力があふれている。1歳のお誕生日を過ぎたら、あかちゃん卒業! 生まれて1時間から始まって、1年間のあかちゃんの記録写真絵本。